

未来につなげる 地域の活動拠点づくり事業

令和3年4月26日

みらいくる



1 団体紹介

● 団体名：みらいくる

代表者名	徳納 弘和
発足年月日	令和2年4月27日
構成員数(会員数)	9名（個人会員）※令和3年3月末現在
役員数	3名（代表・副代表・監事）
主な活動地域	会津若松市内
主な活動内容 ・業務内容	公共団体（国、県、市町村等）及び民間団体（自治会、企業、NPO法人、その他の団体など）が行う、まちづくりや地域活性化、社会教育事業等の企画・運営・調査研究等の活動の支援を通じて、住民参画によるより豊かで持続可能な社会づくりにつなげることを目的とする。



2 市の取組に対する課題認識

- 市が実施した「未来デザインワークショップ」では、地域の方々から魅力あふれるアイデアが数多く出された一方、『どうやって実現につなげるか』が大きな課題



アフターフォローがしっかり行われていないことから、従来の行政が行うワークショップは“やって終わり”
になっていることが多い

◎市民の「ワークショップ疲れ」や
「参加意欲低下」の一因…



2 市の取組に対する課題認識

- 今回のワークショップで出されたアイディアは、
空家や地域の史跡の活用、商店等との連携、多世代交流など
市だけでは実現が難しい取組が多く、アイディアの実現の
ためには、地域住民の主体的な関わり（住民と市との協働）が必要



住民の理解や主体性が発揮されないと、
市からの“押しつけ” “やらされ感”を感じてしまう

結局、“行政任せ”
“やって終わり”の取組に。。。



3 目標とする事業の成果・効果

- 当団体が住民と市とをコーディネートし、ワークショップのアイディアを具体的な「活動」に導き、地域課題の解決や活性化につなげていきます。
- また、取組を通じ、住民と市の関係性を「サービスの授受」から「パートナーシップ」へ転換し、継続した活動の仕組み・体制づくりにつなげていきます。
- さらに、取組の成果や課題を分析し、ノウハウを市と共有しながら、市全体の課題である「地域主体のまちづくりの推進」の事業モデルを提案していきます。

4 目標達成・課題解決の手法

●当団体が提案する事業スキーム

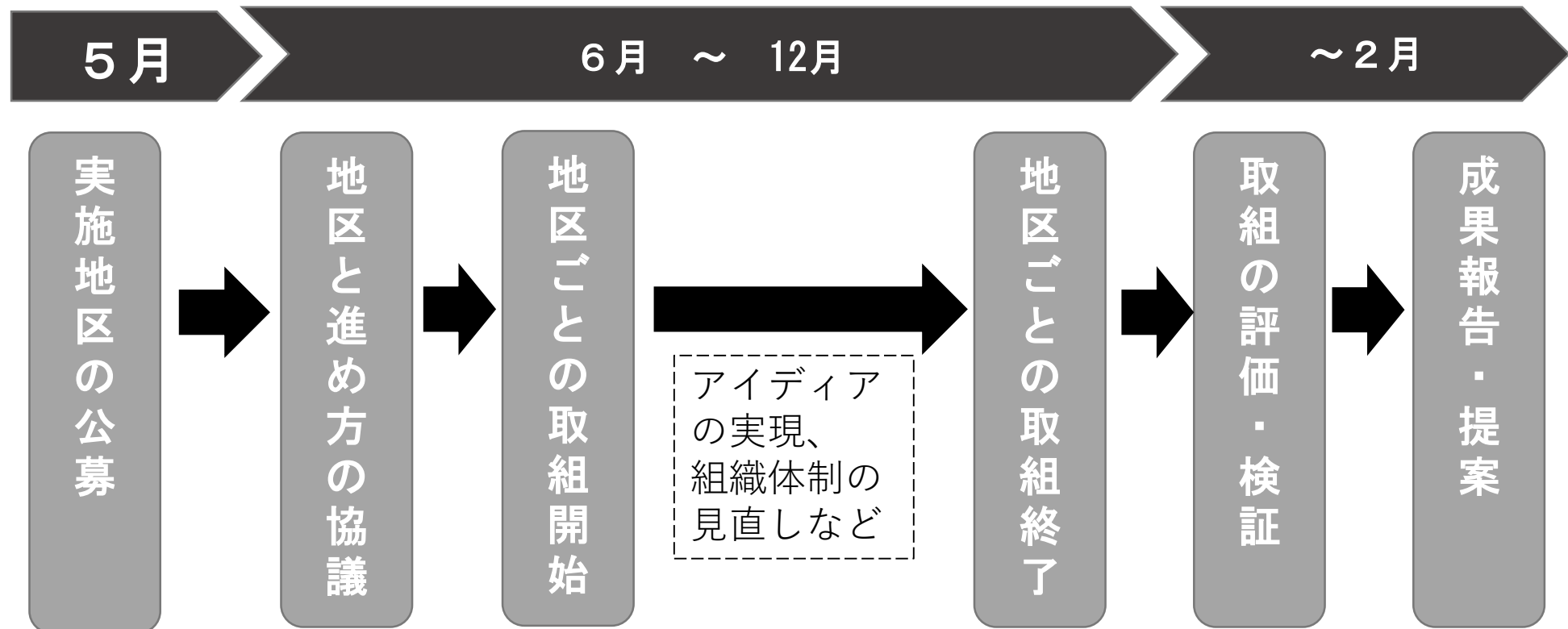
【ポイント】

- ・ 全地区で活動することは困難であるため、
当活動に関心のある地域（区長会や各種団体等）を公募
- ・ 抱えている課題や関心のあるテーマなどが地域ごとに異なることから、具体的な活動内容については
公募いただいた地域の方々と協議しながら決定
- ・ 決定したテーマに応じて、当団体が取組の進め方や
今年度の到達点（ゴール）を地域の方々へ提案し、
合意を得たうえで取組を進めます。

4 目標達成・課題解決の手法

●当団体が提案する事業スキーム

【スケジュール】



4 目標達成・課題解決の手法

●当団体の主な支援内容

① アイディアの実現に向けたトータルサポート

- ・ワークショップのアイディアの具体化
に向けた住民間の意見交換のファシリテーション
⇒進め方の提案、進行、まとめなど
- ・取組の実施（イベントの開催など）に向けた
地域の方々の取組のサポート
⇒企画、資料やチラシ作成、広報 など
- ・運営の支援
⇒イベント等の当日の運営、
終了後の振り返りなど



4 目標達成・課題解決の手法

●当団体の主な支援内容

② 住民の継続的な活動体制の構築支援

- ・ アイディア実現や地域活動の継続、推進に向け、組織体制が課題となる場合には、その検討をサポート
- ・ 地域の方々のこれまでの活動状況や将来像などを洗い出しながら、組織体制や人材育成、リクルーティングのあり方などを検討
⇒必要に応じ、住民ワークショップやアンケート調査、勉強会などを開催



4 目標達成・課題解決の手法

●当団体の主な支援内容

③ 成果の分析とフィードバック

- ・各地区での活動の成果を整理・分析し、市や地域へフィードバックします
- ・あわせて、取組を継続するための課題や、本市において望ましい「地域協働の仕組み」などを検討し提案します

⇒当該事業自体が単発で終わらないよう、
「次の一手」の提案までを業務として行います。



5 事業実施にあたっての役割分担

● 当団体の主な業務

- ・ 事業スキームの提案
- ・ 各地区での意見交換やイベント等のサポート
- ・ 成果の分析や今後の取組の提案

など

● 市（公共施設管理課）の主な業務

- ・ 地域の団体の公募、連絡調整
- ・ 事業実施にあたり必要な庁内調整（施設の提供など）
- ・ 事業全体の進行管理、事務の支援

など

5 事業実施にあたっての役割分担

● サポート体制

- ・ 当該事業の推進にあたっては、当団体のアドバイザーにも参画いただく体制としています。

【アドバイザー】

○ コミュニティデザイン、ファシリテーション

- ・ 一般社団法人 コード・フォー・ジャパン 市川 博之氏
- ・ 一般社団法人 シビックテック・ラボ 市川 希美氏



○ 公共施設マネジメント

- ・ NPO法人 リデザインマネジメント研究所 理事 堤 洋樹 氏
(前橋工科大学 准教授)



※ 3名とも「未来デザインワークショップ」等、
市の公共施設マネジメントの取組にも協力